

令和7年度第2回LTCの子どもの実態調査に関する協議会 議事概要

【日時】 令和8年2月16日（月） 午後1時30分から午後3時30分まで

【場所】 愛知県三の丸庁舎8階 801会議室

【出席者】 伊藤麻衣委員、岩田直子委員、江口秀史委員、奥村陽介委員、加藤美穂子委員、齋藤伸治委員（会長）、高嶋みえ委員、田畑真規子委員、成田佳総委員、新家一輝委員、村嶋一步委員

【欠席者】 夏目淳委員

【事務局】 <愛知県>

健康対策課：久野課長、河合担当課長、三浦課長補佐、藤原主事

特別支援教育課：加納課長補佐

<名古屋市>

海付子育て支援部担当課長

子ども福祉課：穂積課長補佐

障害者支援課：河戸課長補佐

特別支援教育課：山田課長補佐

【傍聴者】 2名

【内容】

1 開会あいさつ

2 議題

(1)LTCの子どもの実態調査の結果

（事務局から資料1-1、1-2、1-3を説明。）

○ 委員の主な意見

- ・ 1次調査では小児がんの方を多く把握できているが、2次調査の回答数が少ないように感じた。

→ （事務局）通院する機会がなければ調査票を渡すことができなかったという点で、小児がんの方々はアクセスの面で難しさがあったと考えられる。

- ・ 主な看護・介護者が中長期で看護・介護できなくなったときに、代わりに看護・介護を行う方は家族という結果になっている。また、「代わりはいない」というのも30%。この方々をしっかりとケアする必要がある。
- ・ 多くのこども本人やきょうだい児の声を聞くことができる画期的なデータである。

(2)LTC の子どもに対する令和 8 年度以降の支援について

(事務局から資料 2 を説明。)

○ 委員の主な意見

- ・ こどもホスピス支援事業は、施設のことだけを指すのではなく、子どもの遊び、学び、体験、グリーフケア、そのすべてを対象にするということは、当事者会の身としても大変うれしく思う。
- ・ 周囲への配慮から意向を表明しない方たちの声を大事にしていけたらいい。
- ・ 現場の立場からいくと、看護師も不足してきているため、人員配置もとても重要なことではないかと考える。